

目的：聖隷こども園・保育園との連携の中で、互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

保育理念・方針が、日常の保育・教育に反映されているか。

『利用者の立場に立ち、人と人とのつながりを大切にしながら、子どもの発達を促す教育と保育』

- ① 子どもの安全と安心を基本とし、保護者が安心して子どもを預け、そして預けて良かったと思える教育と保育
- ② 子どもの発達課題を大切にしながら、人格形成の基礎を培う教育と保育
- ③ 家庭や地域との連携を図り、子どもの「しあわせ」を一番に考える教育と保育

送迎時の様子から子ども、保護者が安心感、信頼感をもって生活していることが伝わってきた。一人ひとりの子どもの状況や家庭生活の実態を把握し、適切に援助されている。子どもの発達について学び合い、子どもの発達過程と個人差に配慮して保育されていた。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

園庭遊びや生活面での関わりでは、一人ひとりを見守り、その子に合った声掛けや援助をされていた。必要以上の関わりをすることなく、実際の子どもの姿や言動から考え、対応されていた。幼児クラスでは、集団としての成長を促す姿が印象的であった。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

適切です。
保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持は徹底されている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

適切な対応がなされている。
クラス、園内で共有している。
内容に応じて「職員会議」を実施し、そこで職員に周知をしている。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

内容に応じて情報提供し、職員には回覧・職員会議の場で周知する。
担当職員が中心となって園内研修の場を設けている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

担当職員が中心となって園内研修の場を設けている。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

修繕関係は事業団の力も借りて、できるだけ速やかに対応するようにしている。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

玄関に大きなクリスマスツリーが飾られ、クリスマスの雰囲気作りが様々な所に見られた。園内、各クラス共に季節の製作物や自然物が飾られ、清掃、物の整理整頓等もしっかりされていた。大きな壁面が沢山飾られ、色、絵柄が多い物等もあった。子ども達が安心できる環境という視点で一度話し合いをされると、より家庭的な空間が広がるのではないかと感じた。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

子どもの発達を促すような玩具や今の興味、関心が広がっていくようなコーナーが設置されていた。手作り玩具等も沢山あり、家庭的な温かい雰囲気作りもされていた。玩具の数やコーナーのスペース、ロッカーの位置等、学び合いながら検討中との事であった。より子どもが安心し、自ら遊び出し、集中して楽しめる環境が作られていくことが楽しみである。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・大人の愛情につつまれ安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・興味や関心のあることを自分で見つけ、試してみようとする

2歳児

- ・さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ
- ・保育者との関わりの中で、自分でできることが増え、身の回りのことを自分でしようとする

3歳児

- ・あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解する
- ・友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・遊びの中で試行錯誤し、自然や事物の特性を知る
- ・友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラス運営を行う

3 歳児が、自ら丁寧に着替えをし、綺麗に脱いだ衣類を畳む姿が見られました。小さい時から職員が一人ひとりの行為やテンポに合わせて必要な関わりを積み重ねてきたからこそ皆が習慣ついているのだと子どもたちの姿から感じました。幼児クラスは年齢発達に合った集団ゲームを楽しむ姿から、友だちと一緒に遊ぶ楽しさ、一人では難しいことも友だちと一緒に力を合わせればすごい力に変わること、ルールを守る大切さ、自分たちで考えて遊びを展開させる面白さ等が育っていることに驚かされました。

【全体を通して】

職員の大きな声が響くことなく、全体的に落ち着いていて、穏やかな雰囲気を感じました。園長、教頭、主幹 2 名が園全体のことを把握した上でそれぞれの役割をしっかりと果たし、必要な取り組み、支援がされ、組織の強さを感じました。職員一人ひとりが、楽しく生き活きと保育をされている姿が多く、任される喜びが、自信へと繋がっていることも感じました。職員を信じて任せる、お願いする大切さも学ばせていただきました。休憩や記録業務の確保等ができており、働きやすい環境が整っていました。子育て中の職員が半数以上いても両立出来るような環境作りは見習っていきたいです。一斉保育、集団の大きさに課題を感じている職員もいましたが、一人ひとりが、真剣に保育と向き合い、子ども達の為にどうあるべきかを考えていました。今後、子ども主体の保育環境がどのように整えられていくのか大変楽しみです。面接では皆さんしっかりと自分の保育を語って下さり、職員の連携、コミュニケーションが取れているとのことでした。その上で振り返りもできていました。改めて保育計画、PDCA サイクルを意識すること、そして共に語り、課題に向きあう事の大切さを痛感しました。ありがとうございました。

評価日	2023 年	12 月	14 日
評価者	園 名	こうのとり保育園	
	役 職	園長	